

重なった位置にある要素の選択方法

文書管理番号：1106-01

Q. 質問

要素が重なっているため、目的の要素が選択できない。

「腰壁+下り壁」のそれぞれの高さを変更したいが、下り壁しか選択できない。

A. 回答

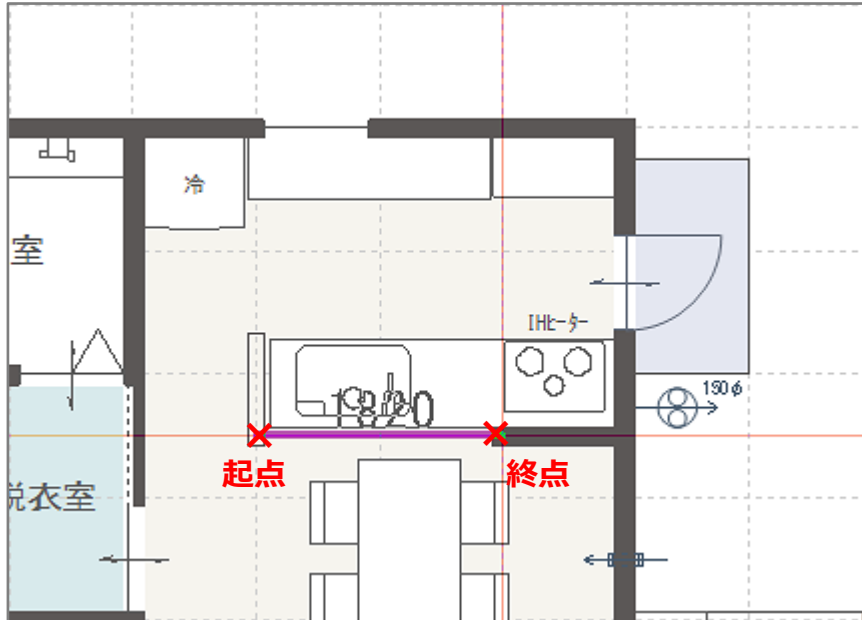
重なっている別の要素を選択している状態で、右クリックメニューの「次候補」をクリック、またはキーボードの[Tab]キーを押すことで、重なった位置にある要素の選択対象を切り替えることができます。ここでは、入力した「腰壁+下り壁」の腰壁の高さを、上記の操作で1100mmから1000mmへ変更する方法を説明します。




操作手順

①  (プラン図)で、キッチン前に  (壁)の  (腰壁+下り壁)をクリック

② 入力したい位置に「腰壁+下り壁」を入力

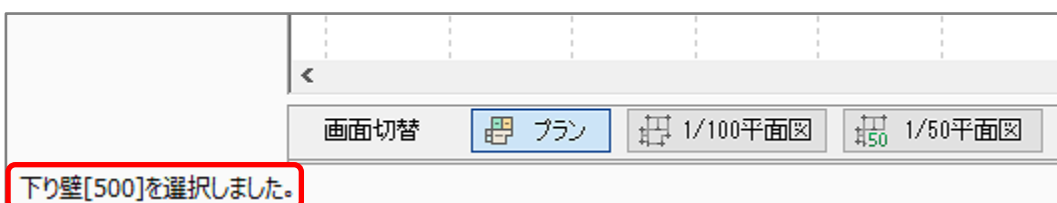


③  (要素選択)をクリック

* 右クリックメニューから「要素選択」を選択してもかまいません。

④ 入力した「腰壁+下り壁」を選択

* 画面左下のインフォバーに、「下り壁[500]を選択しました。」と表示されます。

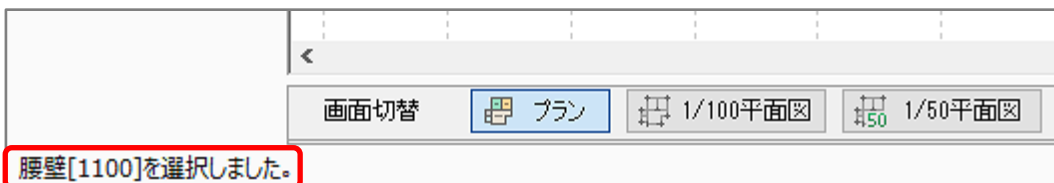


⑤ 右クリックし、「次候補」をクリック

- * キーボードの[Tab]キーを押すことで、選択要素を次候補に切り替えることもできます。
キーボードの[Shift]キーを押しながら[Tab]キーを押すことで、選択要素を前候補に切り替えることもできます。

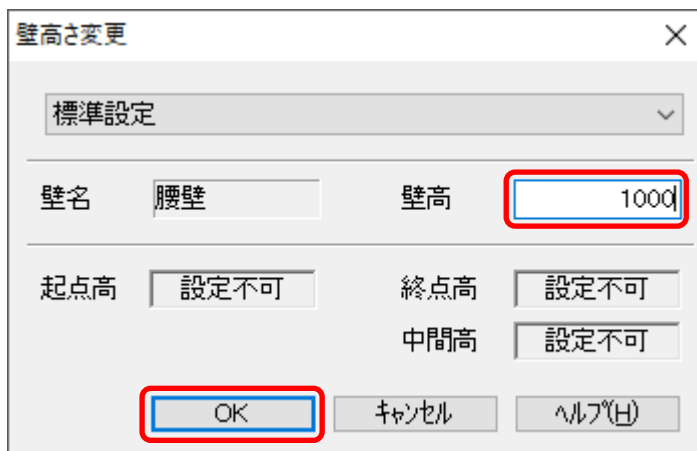


- * 画面左下のインフォバーに、「腰壁[1100]を選択しました。」と表示され、腰壁を選択しています。



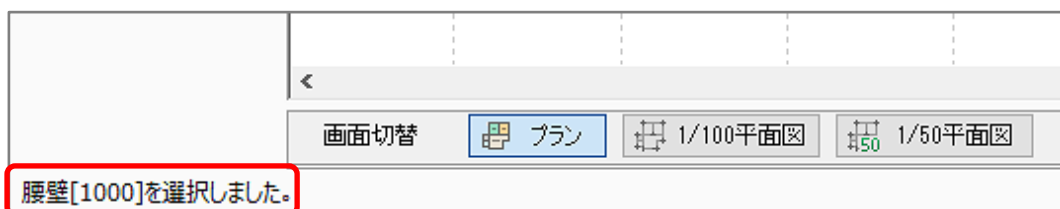
⑥ 右クリックメニューから「高さ設定」をクリック

- * 入力済みの「腰壁+下り壁」をダブルクリックしてもかまいません。
- * 壁高さ変更の画面が表示されます。
- * 壁高を「1000」mmに変更します。











⑦ 「OK」をクリック

⑧ 画面左下のインフォバーの表示で、腰壁の高さが変更されたことを確認



【参考】

右クリックメニューの「次候補」やキーボードの[Tab]キーで、要素の選択対象を切り替える操作は、 (プラン図)のほか、 (屋根伏図)、 (外構図)、 (外部意匠配置)、 (天井伏図)、 (3D パース)、 (鳥瞰図)、 (カラー立面)、各種伏図などでも利用できます。